

日本英語学会第25回大会

日時：2007年11月10日（土）・11日（日）

場所：名古屋大学東山キャンパス（Nagoya University, Higashiyama Campus）
（〒464-8601 名古屋市千種区不老町）

交通：最寄駅：地下鉄名城線名古屋大学駅（徒歩2分）。
JR名古屋駅・名鉄名古屋駅・近鉄名古屋駅からの場合：地下鉄東山線藤が丘行きに乗車し、本山駅で地下鉄名城線右回りに乗り換え、名古屋大学駅下車。所要時間約30分（乗換含）。
JR金山駅・名鉄金山駅からの場合：地下鉄名城線左回りに乗車し、名古屋大学駅下車。所要時間約25分。
航空機利用（中部国際空港）の場合：空港から名鉄特急に乗車し、名古屋駅または金山駅で下車、その後地下鉄に乗り換え（上記参照）。

参加費：2,000円（会員、非会員とも）ただし、公開シンポジウム（シンポジウムB室）のみの入場は無料。

(E) Presentation in English

第1日 11月10日(土)

午前

ワークショップ 9時30分から12時まで

第1室 英語と日本語の<結果志向><過程志向>を再考する (文学部2階237講義室)

責任者 多々良直弘 (桜美林大学)
司会者 井上逸兵 (慶應義塾大学)
発表者 花崎一夫 (信州大学)・花崎美紀 (信州大学)、八木橋宏勇 (杏林大学)、谷みゆき (立教大学)、多々良直弘 (桜美林大学)
ディスカッサント 唐須教光 (慶應義塾大学)

第2室 Linearization across the Grammar (E) (工学部2号館4階241講義室)

責任者 廣瀬富男 (神奈川大学)・塩原佳世乃 (文京学院大学)
司会者 廣瀬富男 (神奈川大学)
発表者 塩原佳世乃 (文京学院大学)、廣瀬富男 (神奈川大学)、Rose-Marie Déchaine (University of British Columbia)、Henry Davis (University of British Columbia)

第3室 語彙情報と文法現象 (工学部2号館4階242講義室)

責任者・司会者 加藤鉦三 (信州大学)
発表者 加藤鉦三 (信州大学)、黒田 航 (独立行政法人情報通信研究機構知識創成コミュニケーション研究センター)、板東美智子 (滋賀大学)、奉 鉦京 (信州大学)

第4室 アスペクト概念と動詞クラス・構文―「完結性」・「瞬時性」の検討を通じて (工学部2号館4階243講義室)

責任者・司会者 磯野達也 (くらしき作陽大学)
発表者 高橋亮介 (上智大学)、兼元美友 (信州大学)、磯野達也 (くらしき作陽大学)

スチューデント・ワークショップ 9時30分から12時まで

第5室 言語現象とコミュニケーションの相関関係について―日英ディスコース対照比較― (文学部1階127講義室)

責任者 白井香織 (日本女子大学大学院)
司会者 井出祥子 (日本女子大学)
発表者 落合るみ子 (日本女子大学)、植野貴志子 (日本女子大学大学院)、野村佑子 (日本女子大学大学院)、白井香織 (日本女子大学大学院)、町 沙恵子 (日本女子大学大学院)

第6室 叙述理論の射程―Dikken (2006)を中心に (工学部2号館2階222講義室)

責任者 中川 聡 (名古屋大学大学院)
司会者 細田裕幸 (島根大学)
発表者 中川 聡 (名古屋大学大学院)、福本陽介 (名古屋大学大学院)、前澤大樹 (名古屋大学大学院)

受付 正午より (文系総合館1階玄関ホール)

総会 12時50分から13時35分まで (文学部2階237講義室)

◇開会の辞 会長 天野政千代 (名古屋大学)
◇開催校代表挨拶 名古屋大学副総長 杉山寛行
◇委員会・事務局報告 委員長 時崎久夫 (札幌大学)
大会運営委員会報告 委員長 米山三明 (成蹊大学)
編集委員会報告 事務局長 田中智之 (名古屋大学)
事務局報告
◇学会賞授賞式 委員長 今西典子 (東京大学)
新人賞選考委員会報告 委員長 原口庄輔 (明海大学)
特別賞選考委員会報告

午後

研究発表 13時45分から16時55分まで

第一室 (文学部1階127講義室)

司会 井上逸兵 (慶應義塾大学)
木津久美子 (神戸市外国語大学大学院)

松木啓子 (同志社大学) [招聘] 「映画の会話シーンにおけるショット交替のタイミング」
「Discourse Phenomena in English Academic Communication: A Case of the Mead-Freeman Controversy」

司会 中村芳久 (金沢大学)

大澤 舞 (筑波大学大学院) 「cause使役受動文の語用論的生起条件」
山本尚子 (奈良女子大学大学院) 「Cognitive Aspects of Tautology」 (文学部2階237講義室)

第二室 (文学部2階237講義室)

司会 宮浦国江 (愛知県立大学)

森 貞 (福井工業高等専門学校) 「Control Cycleと補文標識that/whetherの選択について」
山本 修 (大阪市立大学) 「動詞派生名詞を主語とする叙述属格文について」

司会 児玉一宏 (京都教育大学)

金谷 優 (筑波大学大学院) 「対照構文文法に向けて―英語のbecause構文と日本語のカラ構文―」

年岡智見 (京都大学大学院) 「「コスト」を表す動詞cost, takeと「節約」を表す動詞save, spareの二重目的語構文間の類似性―共通のフレーム知識の観点から―」

第三室 (工学部2号館4階241講義室)

北原賢一 (筑波大学大学院) 「同族目的語構文と結果構文の認知基盤：言語普遍性への構文文法的アプローチ」

第三室 (工学部2号館4階241講義室)

司会 杉崎鉦司 (三重大学)

田口茂樹 (University of Connecticut大学院) 「On Null Complementizers in English and Japanese」

吉本真由美 (大阪大学大学院) 「空演算子移動とLeft Branch Condition―比較構文の謎を解明する」

司会 佐野まさき (立命館大学)

畠山雄二 (東京農工大学)・本田謙介 (獨協大学)・田中江扶 (首都大学東京) 「so倒置構文再考」

平田一郎 (専修大学) 「主要部移動か形態音韻の融合か?：日本語の複合述語形成を例に」

第四室 (工学部2号館4階243講義室)

三原健一 (大阪大学) [招聘] 「動詞移動と活用形」

第四室 (工学部2号館4階243講義室)

司会 小野高之 (東北大学)

工藤和也 (関西学院大学大学院) 「場所格交替と動詞の語彙概念構造」
出水孝典 (立命館大学) 「appearとdisappear: 経路表現との共起可能性の観点から」

司会 杉岡洋子 (慶應義塾大学)

志澤 剛 (筑波大学学部) 「複合形容詞受動態の形成とその認可に関する意味論的アプローチ―Locative Alternation Verbsによるケーススタディー―」

磯崎聡子 (千葉商科大学) 「能動―ee語」

田村敏広 (静岡大学) 「「Get受動文」と「Vてしまう」の意味的類似性とモダリティの意味について」

会員懇親会 17時40分から19時40分まで

アメニティハウス1階 フレンドリー南部 会費：4,000円（学生3,000円）

第2日 11月11日(日)

午前

受付 9時15分より (文系総合館1階玄関ホール)

研究発表 9時45分から12時20分まで

第五室 (文学部1階127講義室)

司会 坪本篤朗 (静岡県立大学)

北村 久 (北海道大学大学院) 「関係節に埋め込まれた名詞句とその照応」
海寶康臣 (立命館大学) 「時を表す表現+知覚動詞+知覚の対象という形式を有する構文について―機能論的な観点からの考察―」

第六室 (文学部2階237講義室)

司会 出原健一 (滋賀大学)

岩崎宏之 (筑波大学大学院) 「前置詞句主語構文の述部制約について」
足立公平 (国士館大学) 「nonagent-initial構文における統語変化と動機づけ」

第六室 (文学部2階237講義室)

司会 谷口一美 (大阪教育大学)

岩橋一樹 (大阪大学大学院) 「形容詞を用いたメタファー表現はどのように解釈されるか」
安原和也 (日本学術振興会) 「Virtual Exophora: A Grounded Blending Approach」

第七室 (工学部2号館4階241講義室)

司会 深田 智 (聖トマス大学)

桂川英也 (愛知文教大学) 「動詞の語彙意味と構文の機能との関わり：There構文における定性効果から」
現影秀昭 (埼玉学園大学) 「dream your troubles away構文の特性：構文拡張の原理」

第七室 (工学部2号館4階241講義室)

司会 越智正男 (大阪大学)

小野 創 (広島大学) 「Licensing Exclamatives and Intervention Effects」
西原俊明 (長崎大学) 「N-Verbsの補文構造について」

第八室 (工学部2号館4階243講義室)

司会 奥 聡 (北海道大学)

村田和久 (大阪大学大学院) 「分割PP構造と非対格性」
有村兼彬 (甲南大学) [招聘] 「名詞句表現における目的語解釈」

第八室 (工学部2号館4階243講義室)

司会 岡崎正男 (茨城大学)

内芝慎也 「The Distribution of Stranding Prepositions in English: From a Syntactic to a Prosodic Approach」
深谷修代 (津田塾大学) 「OTの枠組みから見たV2現象と制約の相互作用の重要性」

第九室 (文学部2号館4階243講義室)

司会 本間 猛 (首都大学東京)

西原哲雄 (宮城教育大学) 「厳密階層仮説と音律階層―最適性理論の観点から―」
本間弥生 (大阪学院大学) [招聘] 「特殊モーラを含む日本語単語の長さ高さの音声学の考察」

午後

シンポジウム 13時45分から16時30分まで

A室 英和辞典はどこまで意味を記述できるか (文学部1階127講義室)

司会 瀬戸賢一 (大阪市立大学)

講師 田中茂樹 (慶應義塾大学) 「多義語における意味の連続性をどう回復するか」
講師 南出康世 (大阪女子大学) 「学習英和辞典における前置詞・副詞辞の記述」
講師 赤野一郎 (京都外国語大学) 「学習英和辞典における意味記述―コーパス言語学の視点から」
講師 池上嘉彦 (昭和女子大学) 「Natural English」とは何か」
講師 瀬戸賢一 (大阪市立大学) 「多義語辞典から新しい英和辞典へ」
ディスカッサント 八木克正 (関西学院大学)

B室 日本の英語教育を異化する (公開) (文学部2階237講義室)

司会 唐須教光 (慶應義塾大学)

講師 大谷泰照 (名古屋外国語大学) 「2つの視点」
講師 鈴木孝夫 (慶應義塾大学) 「日本の英語教育を異化する：私の提案」
講師 本名信行 (青山学院大学) 「英語を国際言語として教えることに関する一考察～英語の多文化化を視野に入れて～」

C室 日本語の音節構造とプロソディー：方法論の違いから何が見えてくるか (工学部2号館2階222講義室)

講師 唐須教光 (慶應義塾大学) 「なぜ「識者」は早期英語教育に反対するのか―その心理的背景を探る」

D室 移動と一致のタイロロジー (工学部2号館4階241講義室)

司会 田中伸一 (東京大学)

講師 原口庄輔 (明海大学) 「音韻理論：音節の理論とプロソディー」
講師 上野善道 (東京大学) 「日本語のアクセントと音節・モーラ」
講師 藤村 靖 (Ohio State University) 「The Syllable and Prosody」

ディスカッサント 窪蘭晴夫 (神戸大学)

D室 移動と一致のタイロロジー (工学部2号館4階241講義室)

司会 岸本秀樹 (神戸大学)

講師 岸本秀樹 (神戸大学) 「一致としての主語尊敬語化」
講師 高野祐二 (金城学院大学) 「Scrambling and Control」
講師 宮川 繁 (MIT) 「What's Wrong With Today's Linguistic Theory?」

E室 普遍文法に迫る日本語獲得研究 (工学部2号館4階242講義室)

司会 佐野哲也 (明治学院大学)

講師 薬袋詩子 (理化学研究所) 「幼児言語における論理接続詞とフォーカス演算子―日英語比較研究」

F室 普通文法に迫る日本語獲得研究 (工学部2号館4階242講義室)

講師 岡部玲子 (UCLA大学院) 「使役文の獲得：複文構造の早期発達」
講師 郷路拓也 (東北大学/科学技術振興財団) 「作用域解釈に関する制約と第一言語獲得」

G室 コーパスを利用した英語史研究の現状と課題 (工学部2号館4階243講義室)

司会 大門正幸 (中部大学)

講師 柳 朋宏 (中部大学) 「Parsed Corpora of Historical Englishを利用した英語史研究―数量詞の事例を中心に―」

H室 コーパスを利用した英語史研究の現状と課題 (工学部2号館4階243講義室)

講師 家入葉子 (京都大学) 「The Oxford English Dictionaryの引用文データを利用した英語史研究―doubtの検索性を中心に―」

I室 コーパスを利用した英語史研究の現状と課題 (工学部2号館4階243講義室)

講師 大門正幸 (中部大学) 「データ公開の重要性」

J室 コーパスを利用した英語史研究の現状と課題 (工学部2号館4階243講義室)

司会 大門正幸 (中部大学) 「データ公開の重要性」

講師 大門正幸 (中部大学) 「データ公開の重要性」

講師 大門正幸 (中部大学) 「データ公開の重要性」

講師 大門正幸 (中部大学) 「データ公開の重要性」

講師 大門正幸 (中部大学) 「データ公開の重要性」

講師 大門正幸 (中部大学) 「データ公開の重要性」

講師 大門正幸 (中部大学) 「データ公開の重要性」

講師 大門正幸 (中部大学) 「データ公開の重要性」

講師 大門正幸 (中部大学) 「データ公開の重要性」

講師 大門正幸 (中部大学) 「データ公開の重要性」

講師 大門正幸 (中部大学) 「データ公開の重要性」

講師 大門正幸 (中部大学) 「データ公開の重要性」

講師 大門正幸 (中部大学) 「データ公開の重要性」

講師 大門正幸 (中部大学) 「データ公開の重要性」

講師 大門正幸 (中部大学) 「データ公開の重要性」

講師 大門正幸 (中部大学) 「データ公開の重要性」

The English Linguistic Society of Japan